



香川大学遠隔会議サービス「Kadype」 学生利用ガイド



本文書は香川大学遠隔会議サービス「Kadype」（カダイプ）の学生向けガイドです。以下の手順によって遠隔で授業を受けることができます。本文書に基づき設定を行い、遠隔授業に参加してください。

1. Kadype の概要

Kadype は、Windows パソコン、Mac、iOS 端末（iPhone、iPad）、Android 端末に対応しています。どの端末を用いるかを決めてください。いずれもインターネットへの接続が必須になります。

図1はiOS・Androidのスマートフォンまたはタブレット端末の画面です。このように教員が提示する板書やパワーポイントを視聴することができます。

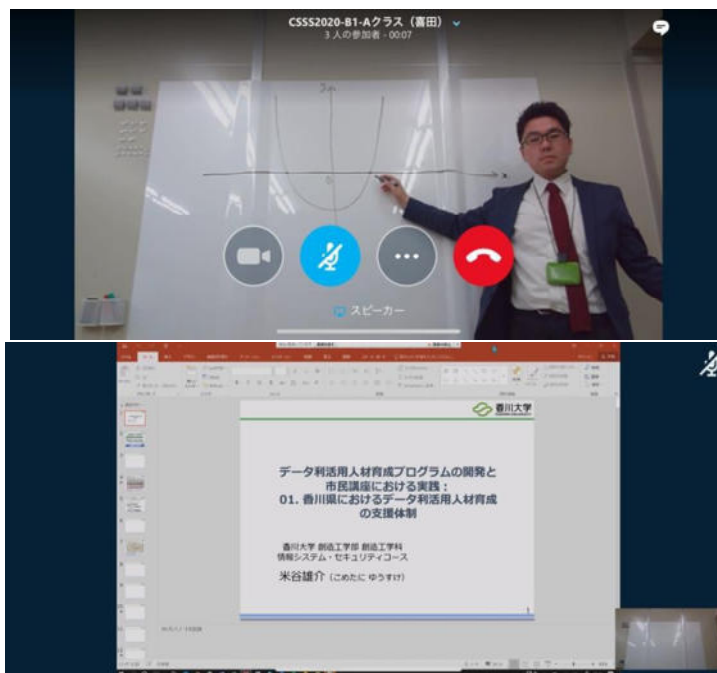


図1 スマートフォンまたはタブレット端末で視聴する授業の様子

2020 年 5 月 29 日
香川大学 総合情報センター

図2は Windows パソコン、Mac で視聴する時の様子です。Windows と Mac では若干画面のレイアウトが変わるので注意してください。Windows では他者の様子だけでなく自分が他者からどのように見えるかが確認できます。Mac では自分が相手からどのように見られているかは表示されません。またノート型パソコンの共通点として、参加者が多くなるほど講師の画面が小さくなります。ただしパワーポイントなどの提示資料は画面全体に表示されます。

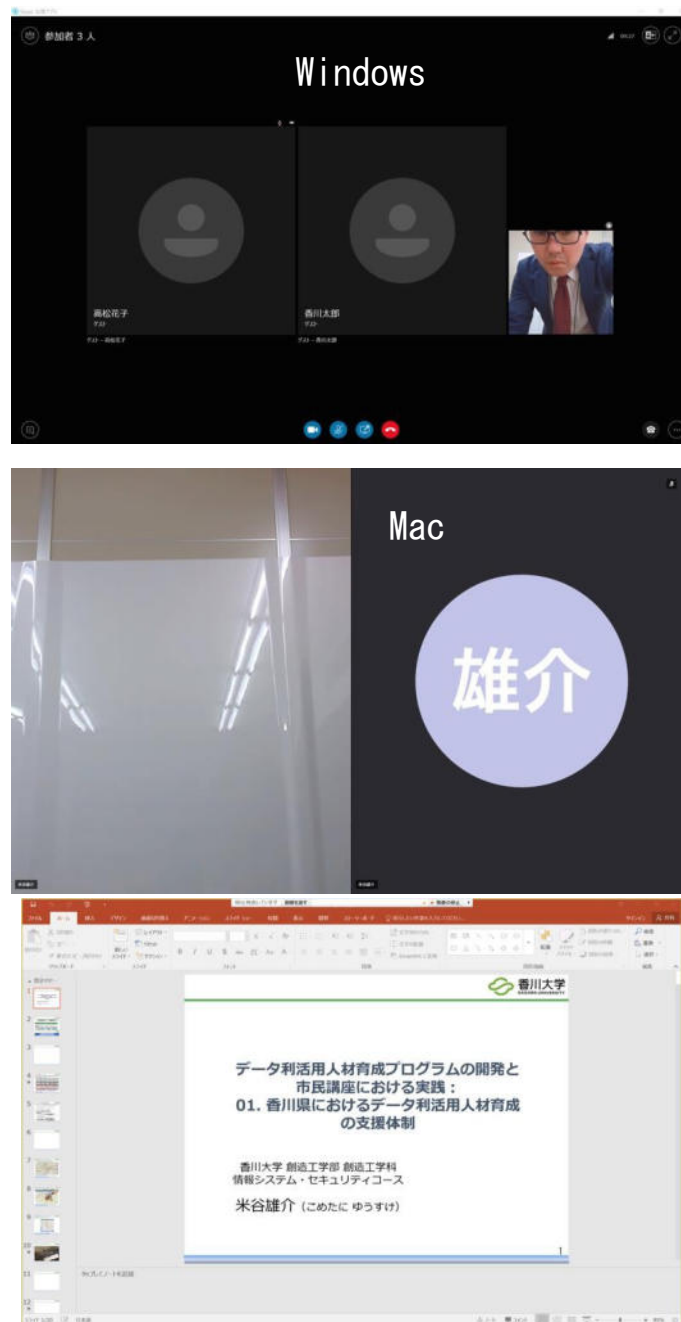


図2 Windows パソコン、Mac で視聴する場合の画面

2. 遠隔授業への参加手順

手順 1：遠隔授業の参加用 URL を受け取る。

各授業につき担当教員から以下のような形式の URL が届きます。これが遠隔授業の参加用 URL です。

https://meet.lync.com/*****/*****/****/

手順 2：受け取った URL を Web ブラウザで開く

Microsoft Edge や Google Chrome などの Web ブラウザで上記の URL を開いてください。

手順 3：遠隔授業に参加するためのアプリをインストールする (初めて利用する場合のみ実行)

参加者用 URL を Web ブラウザで開くと、初回のみアプリのインストール画面になります。端末によって操作が異なりますので、端末ごとに説明します。

Windows の場合

図3のような画面が表示されます。「Skype 会議アプリ (Web) をインストールして参加する」をクリックします。図4のようにアプリのインストーラがダウンロードされます。インストーラをクリックしてアプリをインストールします。



図3 遠隔授業に参加するためのアプリの選択



図4 遠隔授業を利用するためのアプリのインストーラのダウンロード

Mac の場合

Mac は Windows と同様です。ただし Mac の場合は、図3における選択肢はなく、単にアプリをインストールするかどうかを尋ねられます。

iOS (iPhone・iPad) の場合

Web ブラウザで開いた画面で「ここをタップしてインストール」をタッチします。「入手」ボタンを押してアプリをインストールします。

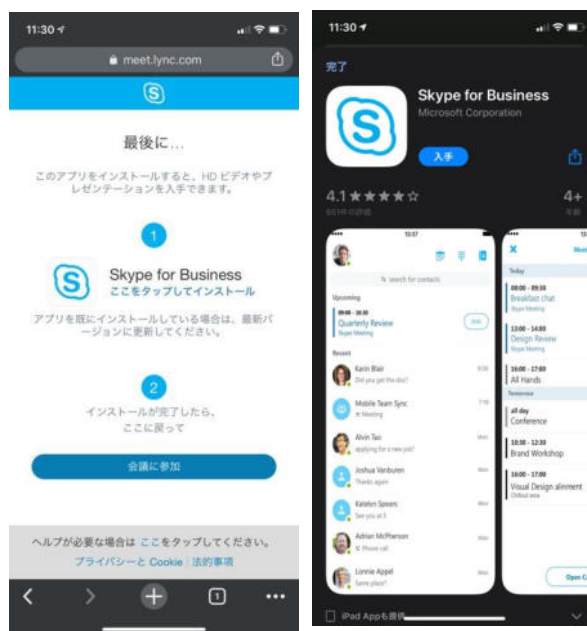


図5 iOS における初期設定とアプリインストール画面

Android の場合

Web ブラウザで開いた画面は図 5 と同様で「ここをタップしてインストール」をタッチします。「入手」ボタンを押してアプリをインストールします。



図 6 iOS におけるアプリインストール画面

手順 4: 遠隔授業に参加する

改めて参加者用 URL を Web ブラウザで開いてください。以降、遠隔授業を受けるときはこの手順 4 から始めてください。Skype for Businessを開くかどうか質問されますので、「Skype for Businessを開く」を選択してください。アプリが立ち上がります。

サインインアドレス欄に、「**s+学籍番号（ローマ字は小文字）@kagawa-u.ac.jp**」、パスワード欄に、**統合認証IDのパスワード**を入力します（図7）。

その後、遠隔授業の画面が立ち上がります（図8）。初回のみセキュリティに関する確認が表示されますので、「アクセスを許可する」をクリックします。

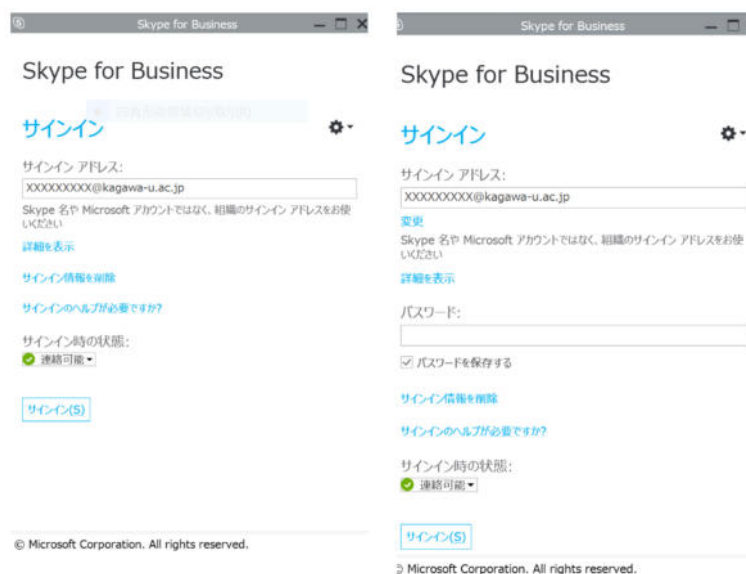


図7 サインイン画面

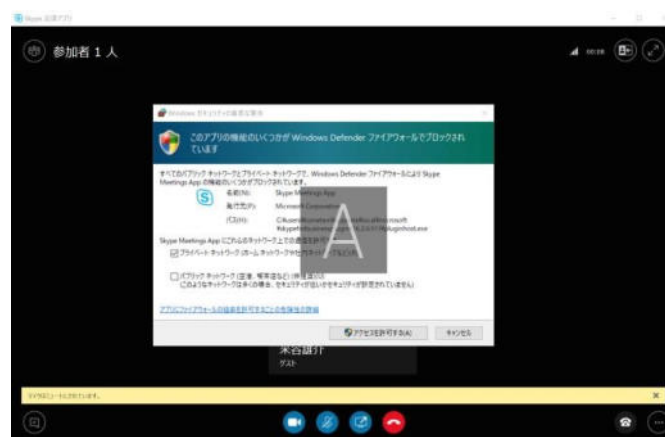


図8 遠隔授業画面（初回のみセキュリティに関する確認画面が表示）

※「s+学籍番号（ローマ字は小文字）@kagawa-u.ac.jp」と統合認証IDのパスワードでのサインインをお願いします。

やむなくゲスト参加する際は、いずれの端末でも、まず自分の名前を入力する画面が表示されるので、「学籍番号・氏名」を入力してください。これは教員や授業の参加者に提示される名前です。**出席確認のため姓名とも書いてください。**

ゲスト参加する際の端末ごとの画面は以下のとおりです。

Windows の場合

「学籍番号・氏名」を入力します(図9)。その後、遠隔授業の画面が立ち上がります(図8)。初回のみセキュリティに関する確認が表示されますので、「アクセスを許可する」をクリックします。

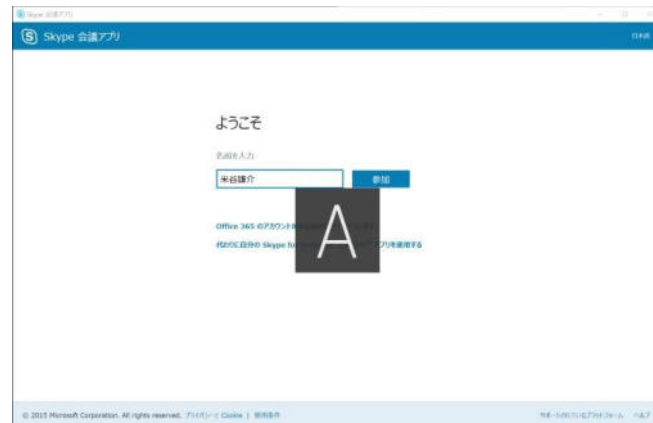


図9 遠隔授業における表示名の入力 (Windows の場合)

Mac の場合

Windows の場合と同様です(図10)。

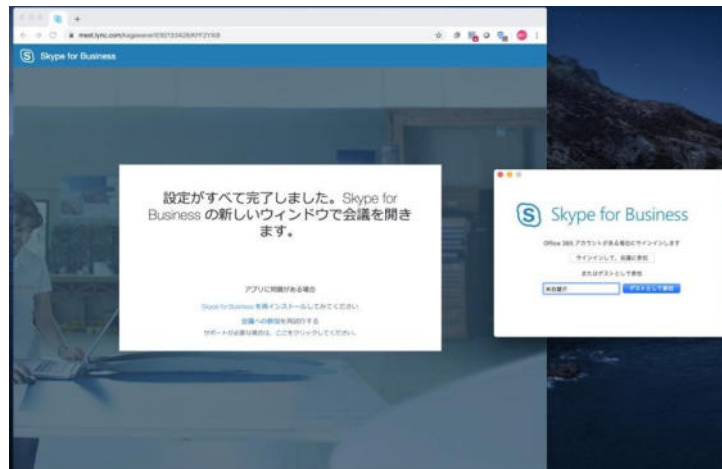


図10 遠隔授業での表示名の入力 (Mac の場合)

iOS (iPhone・iPad) の場合

図 11 に、一連の流れを示します。「会議に参加」をタッチすると、先ほどインストールしたアプリを開くかどうかを聞かれるので「開く」をタッチします。その後、「ゲストとして参加」を選びます。最後に「学籍番号・氏名」を入力します。



図11 遠隔授業での表示名の入力 (iOS の場合)

Android の場合

iOS とほぼ同じ画面です(図 12)。「ゲストとして参加」を選びます。最後に「学籍番号・氏名」を入力します。

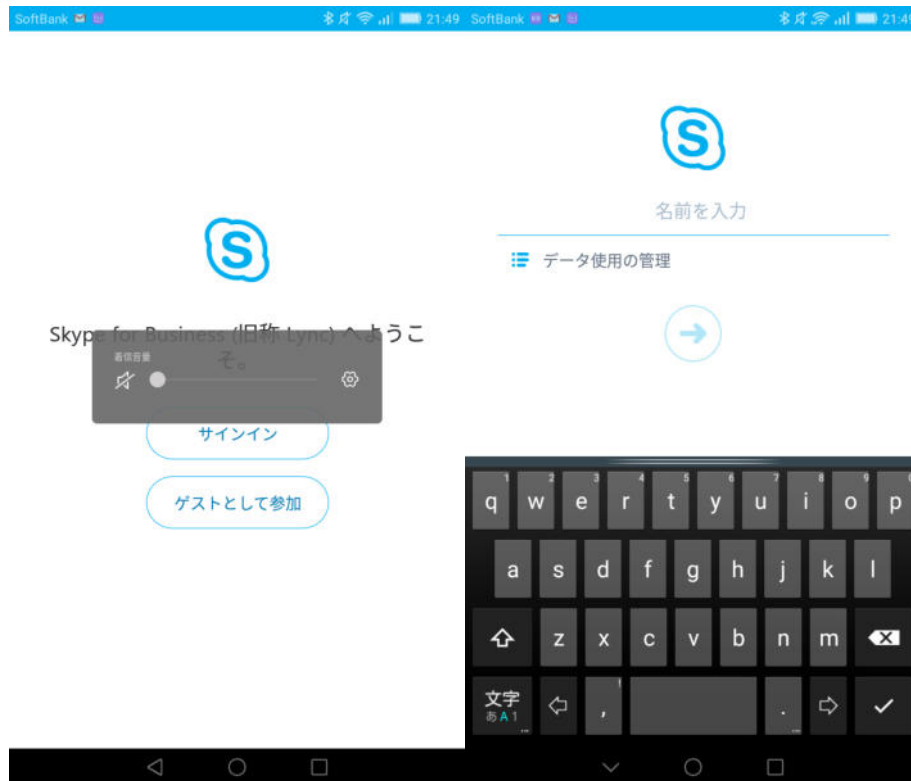


図 12 遠隔授業での表示名の入力 (Android の場合)

iOS・Android の注意点

★ここが引っかけやすいので注意してください★

遠隔授業中に誤って画面を閉じてしまったなど遠隔授業から一旦退出した後で、再度アプリを開くと図 13 のようなサインインを求められる画面になることがあります。

この場合は、「s+学籍番号（ローマ字は小文字）@kagawa-u.ac.jp」と統合認証IDのパスワードでサインインしてください。

やむなくゲスト参加の場合は、アプリを一旦閉じ、再度参加用 URL を開くところから開始してください。そうすると図 11や図12 のような「ゲストとして参加」ボタンが出てくる画面に移動できます。



図 13 サインイン画面

3. Kadype の主要な機能と利用マナー

(1) Kadype の主要な機能

Kadype の画面構成は図14のとおりです。どの端末でも基本的な部分是一緒です。「ビデオカメラ」ボタンを押すと、パソコンに接続されている Web カメラが起動し、自分の顔を撮影し参加者全員に提示できます。「マイクミュート」ボタンを押すとマイクをミュート（自分の声が相手に聞こえないよう）にするかどうかを切り替えられます。「資料共有」ボタンを押すと自分のパソコン画面やファイルに参加者全員に共有することができます。「退室」ボタンを押すと、会議から退席することができます。



図 14 遠隔授業・会議画面の構成

- ※ カメラをオンにしても自分の顔が写らない、マイクミュートをオフにしても相手に自分の声が聞こえていないなどの場合は、カメラ・マイクが接続（ノートパソコンなら内蔵）されているかどうかを確認してください。あるいはそのような場合はカメラ・マイクを操作するためのソフトウェア（ドライバ）がインストールされていない可能性もありますので、機器の説明書（Web ページなどが存在）をご確認ください。

Kadypeで教員の画面を大きく表示する方法

Kadypeを用いたリアルタイム講義で、講師のカメラ映像が小さくなり、教員が板書した文字が見えない方向けの情報です。こちらの設定はWindowsを使っている学生に有効です。

[設定方法]

画面右上に見た目を調整する設定メニューがあります。標準ではギャラリービューになっているかと思います。これをスピーカービューに変更してください。そうすると以下のように、話者である講師が拡大して表示され、文字の視認性が向上します。



ギャラリービュー

参加者が増えるほど講師の画面が小さくなる



スピーカービュー

参加者が増えても話者である講師の画面とあなたの画面のみ表示される

(2) テレビ会議における基本的なマナー

発表者以外は原則ビデオカメラをオフ、マイクをミュート（消音）にするようにしてください。発言するとき以外はマイクをミュートにし、発言や質問をするときのみマイクのミュートを解除するようにしてください。

(3) デスクトップ PC を利用したい方に注意

ノートパソコンではなくデスクトップ PC を利用したい方は注意が必要です。デスクトップ PC には一般的、マイク、カメラ、スピーカーがついていません。Kadype を利用するためには、別途これらを購入し、デスクトップ PC に接続する必要があります。



図 15 マイクとスピーカーが一体になったヘッドセットの例(1000 円くらいから購入可能)



図 16 Web カメラの例(2000 円くらいから購入可能)